

6
June

みんなの未来を守る健康診断

けんこうリンク

創刊号



CONTENTS

「“公益財団法人”茨城県総合健診協会」始動

第46回予防医学技術研究会議にて日頃の研究成果を発表

- ・大腸がん検診精度向上研修会にて当協会の検診実施状況を報告
- ・健康づくり推進事業功労者表彰
- ・リレー・フォー・ライフ 2012 in 茨城に参加
- ・協会創立 30 周年記念講演を開催

読者プレゼント

特集

「公益財団法人」
茨城県総合健診協会

始動

このたび、財団法人茨城県総合健診協会は、茨城県知事の認定を受け、平成24年4月1日より「公益財団法人茨城県総合健診協会」となりました。今回の特集は、公益財団法人として新たなスタートを切った当協会の新体制およびこれからの将来像をご紹介します。

従来の財団法人との違い

平成18年度の公益法人制度改革により、従来からある公益法人は、平成20年12月1日から平成25年11月の5年間の移行期間中に「一般社団・財団法人」もしくは「公益社団・財団法人」へ移行することが求められました。

主なチェックポイント

1 技術的能力を有すること

事業を実施するための技術や専門的能力を持つ人材、設備などの能力を有していること。

2 経理的基礎を有すること

- 安定的かつ継続的な公益目的事業を実施するにおいて法人が事業を行うために必要な「経理的基礎」があること。
- 税理士等の経理事務の精通者により、適切な情報開示が行われていること。

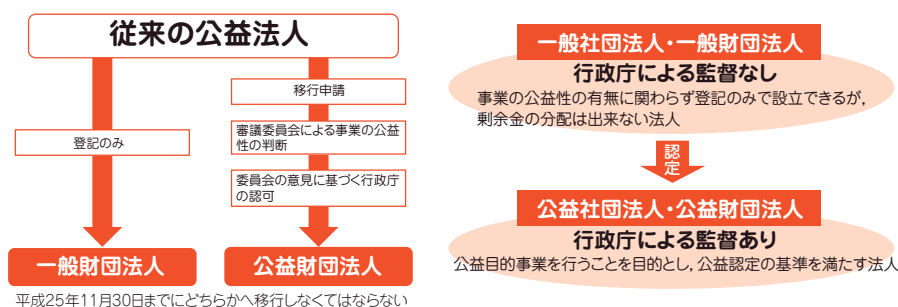
維持することが求められますが、そのほか次のような基準をはじめる、厳しい基準が多数設けられています。

なぜわれわれは
公益財団法人を選んだか

われわれは、県内を代表する健康診機関であり、また「県民の健康を守る」という社会的使命を果たすうえで、一般財団法人でなく公益財団法人への移行がふさわしいと考え、平成23年9月に茨城県に対し公益法人移行の申請をいたしました。

そして、平成24年2月に茨城県公益認定等審議会より公益の基準に適合するとの答申を受け、3月に茨城県より公益財団法人として認定が下り、これにより平成24年4月1日より公益財団法人としてスタートすることとなりました。

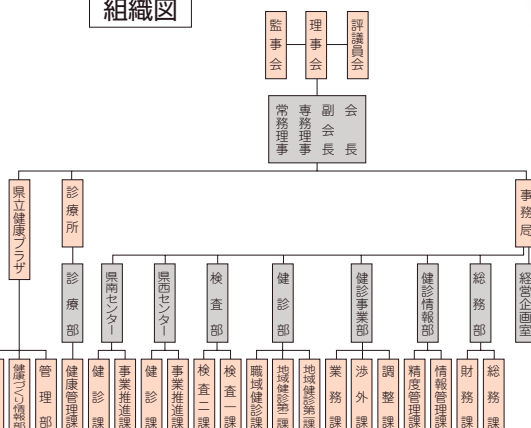
公益法人制度改革



新役員一覧 [平成24年6月1日現在]

会 長	山 口 順	元国立大学法政大学理事府属病院院長兼務
副 会 長	大 田 仁 史	元茨城県立医療大学付属病院院長
	齋 藤 浩	茨城県医師会会長
専務理事	根 本 年 明	前茨城県保健福祉部長
常務理事	加 藤 勝 義	茨城県総合健診協会事務局長
	渡 辺 宏	茨城県総合健診協会診療所長
理 事	櫻 井 よう子	茨城県地域女性団体連絡会会長
	石 渡 勇	茨城県母性保護産婦人科医会顧問
監 事	三 輪 俊 明	元茨城県議会事務局長
	大 川 雅 弘	税理士
	緒 方 剛	茨城県筑西保健所長
	亀 井 比志子	茨城県地域女性団体連絡会副会長
	菊 池 明 徳	茨城県市議会町議会常務理事
	栗 崎 美 範	茨城県国民健康保険団体連合会事務局長
	田 中 義 枝	茨城県食生活改善推進団体連絡協議会顧問
	塚 田 せき子	前茨城県市町村保健師連絡協議会会長
	仲 田 賢一	前茨城県市町村職員共済組合事務局長
	藤 枝 隆	茨城県市浦保健所長
	大 和 博 一	茨城県水戸保健所長

組織図



公益財団法人として 果たすべき役割

公益財団法人として、当協会は、高い公益的使命を果たすため、以下の2つを柱に事業を推進してまいります。

①茨城県民の疾病予防・健康の保持増進ならびに公衆衛生と福祉増進に寄与する事業

現代日本における急速な高齢化の進行に伴い、予防医学の重要性が日に日に高まっています。そのなかで、健診・検査の提供は、健康寿命（健康であり、痴呆や寝たきりにならない状態で生活できる期間）の延伸を図るうえで非常に重要であるとともに、医療費の削減や社会資本の損失を防ぐなど、経済的な側面でも貢献ができると感じております。

当協会はこれからも地域の住民や職場で働く方々、未来を担う児童や乳幼児と多岐にわたって健診・検査事業を提供することにより、公益的社会的役割を担うとともに、県民の公衆衛生と福祉の増進に貢献します。

さらに、行政や大学、上部団体である日本対がん協会・結核予防会・予防医学事業中央会の行う調査研究事業への積極的な協力や、長年の健診において蓄積されたデータを基にした学術的な発表をとおし、我が国における予防医学の発展に寄与してまいります。

②茨城県民の健康寿命を延伸するための健康づくり支援事業

健康づくりの情報発信基地として「茨城県立健康プラザ」の管理・運

営を行い、県民の健康づくりと健康寿命延伸を目的とした、健康に関する情報の収集・分析・提供、健康に関する調査・研究活動を行います。

また、高齢者の介護予防とリハビリテーションを目的とした茨城県独自の「シルバリーハビリ体操」事業を実施し、体操の普及活動や体操指導士の養成を積極的に推進します。

将来に向けて

茨城県民の皆様の健康づくりには特定健診およびがん検診の受診率向上が一番の課題です。しかし、当県における受診率は依然として低い状況にあります。

そこで、当協会は市町村をはじめとする関係団体との連携を深め、より多くの皆様に健康診断を受けていただけるよう個別受診勧奨や総



合健診、夜間健診を推進し、受けやすい健診環境づくりを整備し、行政が掲げる受診率の目標達成に寄与できるよう最大限努力していきます。

また、皆様が健診を受けていただくためには、「健診を受けてよかった」「健診を受けた」と感じてもらうことも重要です。

当協会は平成20年度より、X線撮影装置をはじめとする画像検査機器のデジタル化を順次進めております。今年1月には、デジタルマンモグラフィ検診車を他の機関に先駆けて導入するなど、デジタル化に向けた整備をしております。また、従事スタッフ一人一人の資質向上に努め、質の高い健診の提供にひきつ

き努めてまいります。

おわりに

当協会はこれからも地域社会に貢献し続けるよう、健康支援機関として専



学会研究発表の様子



デジタル画像ファイリングシステム

門的見地から皆様の健康管理と予防医療に役立つ情報提供を行って参りたいと存じます。

公益財団法人への移行を機に、さらに高い公益性を発揮し、県民の皆様に親しまれる健診機関を目指し、役職員一同、新たな気持ちで事業を推進してまいりますので、今後とも当協会の活動に對しましてのご理解と、より一層のご指導ご支援をお願い申し上げます。

新ネーミング・シンボルマーク

皆様に親しんでいただくための愛称（ネーミング）である「けんこうリンク」を制定しました。この愛称には、安心できる健康診断をとおして、健康で充実した日常生活へ“つながる”。また、皆様とわたしたち協会が、健康に関する課題の共有によって日常的に“つながっている”という意味合いが込められています。

また、新たな協会の象徴としてのシンボルマークを一新いたしました。マークは、皆様とわたしたち協会をつなぐアイコンである聴診器と、優しさを表すハートをモチーフとしたデザインとなっています。



◆ ホームページをリニューアルしました ◆

公益財団法人への移行に伴い、当協会のホームページをさらに見やすくリニューアルいたしました。

機関紙「けんこうリンク」のオンライン版や、がん・メタボ・結核といった健康情報、当協会の最新の動きや健診結果の見方など皆様の健康に役立つ情報を発信していきます。コンテンツも順次リニューアル予定ですので、ぜひご覧ください。



<http://www.ibasouken.org>

第46回予防医学技術研究会にて 日頃の研究成果を発表

2月16日・17日にホテルメトロポリタン高崎（群馬県高崎市）で開催された、予防医学事業中央会主催「第46回予防医学技術研究会」にて、日頃の研究成果を発表いたしました。

A社およびB社における心電図自動解析結果（判定）の傾向の比較検討

○杉山守 小滝喜久男 澤田博美 平根隆志 宮川孝康 富沢巧治

【要旨】

A社およびB社製品の心電図自動解析機能の比較検討を、当協会職員健診時に187名（男80人、女107人）を対象に行なった。

【結果】

A社およびB社製品とも、医師判定との一致率は78%（187件中146件）であったが、医師判定が「正常」もしくは「軽度異常」と判定した場合、「abnormal：異常」判定がA社は20件であるのに対し、B社は4件とA社はB社より、重く判定する傾向にあった。

このことから、機種間の判定傾向の差異を十分に認識し、自動解析機能を活用する必要がある。

		A社判定		
		normal	borderline	abnormal
医師判定	正常	122	9	14
	軽度異常	9	11	6
	要精密	0	3	13
	B社判定			
		normal	borderline	abnormal
	正常	124	21	0
	軽度異常	5	17	4
	要精密	0	11	5

子宮頸がん検診における女性特有のがん検診推進事業（無料クーポン券）の効果について

○武石充弘 齋藤由美 加瀬香
安蔵昌子 飯村由美子
相馬雅行 富沢巧治 渡辺宏

【要旨】
平成21年度から開始された、女性特有のがん検診推進事業（無料クーポン券）による子宮頸がん検診の効果を測るため、実施前の平成20年度と実施後の平成21・22年度の成績を比較した。

【結果】

平成22年度の受診者は、平成20年度と比べ、集団検診で3961人、医療機関検診では16815人増加し、その中でクーポン対象者が集団検診で約4割、医療機関検診では約8割を占めた。また、クーポン対象者の初回受診率が高く、30歳以降のクーポン対象年齢においても初回受診者が多いことから、これまで受診しなかった人に対する受診勧奨に大きな効果があつた。

早期がんや異形成の発見数も実施前と比べ大幅に増加し、無料クーポンを契機に受診し発見されたと推察されることから、死亡率の低下や妊産性（にんぶつせい）の温存において効果的な事業であるといえる。

上記の他に、「特定健診における詳細項目の受診勧奨等について」「腸内細菌検査における分離培養の検討」を発表いたしました。

大腸がん検診精度向上 研修会にて当協会の 検診実施状況を報告

有楽町朝日スクエア（東京都）にて2月24日に行われた、公益財団法人日本対がん協会の主催する「第3回大腸がん検診精度向上研修会」において、当協会松山浩検査部長がシンポジストとして当協会における大腸がん検診の実施状況を報告いたしました。

同研修会は、大腸がん検診の精度向上を目的に、年に1度開催されており、今回は「働く世代への大腸がん検診推進事業でみえた課題」をテーマとして行われました。

検診：行政医師・看護師のさまざまな観点から、大腸がん検診推進事業を効果的に推進するために、依然として低い大腸がん検診の受診率向上対策や検診の有効性のアピール方法など活発な意見交換が行われました。



リレー・フォー・ライフ2012 in 茨城に参加

5月19日・20日の2日間、つくば市研究学園駅前公園にて行われた日本対がん協会主催「リレー・フォー・ライフ2012 in 茨城」に、同会茨城県支部として参加いたしました。

リレー・フォー・ライフは、米国の医師ががん患者のため24時間競

技場を回り、友人知人から寄付を募ったことから始まったイベントです。日本では、2006年のつくば大会を皮切りに全国各地で開催されており、茨城での開催は今回で4回目となります。

昨年度は、東日本大震災の影響により、リレーウォークのみの参加

となりましたが、今年度は骨粗鬆症検診の無料体験コーナーや胸部・乳房X線のデジタル検診車の展示を行い、600名を超える来場者に検診による健康管理の重要性を啓発いたしました。

なお、協賛企業および個人の方

から集まった寄付金は、日本対がん協会が行う「がん患者支援活動」に役立てられます。



普段じっくり見るのできない検診車の中を見学していただきました。



骨粗鬆症検診無料体験コーナーは、骨密度を測定できるとあって大好評

受賞者・受賞団体一覧(順不同、敬称略)

氏名	主な業績
福田 潔 (筑波病院)	胸部検診の読影業務に従事し、県民の結核予防の推進に貢献。
石川 成美 (国際医療福祉大学)	複十字シール運動に積極的に協力し、結核予防の推進に貢献。
辻 葉子 (天川クリニック)	胃がん検診の読影業務に従事し、県民のがん予防の推進に貢献。
対馬 健祐 (きぬ医師会病院)	子宮がん検診に従事し、県民のがん予防の推進に貢献。
中山 和之 (元中山病院院長)	子宮がん検診に従事し、県民のがん予防の推進に貢献。
新井 ゆう子 (霞ヶ浦医療センター)	

団体名	主な業績
筑西市	結核健診事業を推進し、住民の健康増進に貢献。
医療法人昂仁会 八タミ病院	複十字シール運動に積極的に協力し、結核予防の推進に貢献。
小美玉市	大腸がん検診および女性特有のがん検診事業を積極的に推進し、住民の健康増進に貢献。
つくば市	特定健診・特定保健指導事業を積極的に推進し、住民の健康管理・増進に貢献。



長年にわたり茨城県の健康づくり事業に貢献された個人・団体を表彰する茨城県主催「平成23年度県民健康づくり表彰式」が2月22日に、茨城県庁講堂にて行われました。その中から当協会関係者で受賞された方々をご紹介します。

健康づくり推進事業功労者表彰

協会創立30周年記念 講演を開催

2月21日に、水戸プラザホテルにて茨城県総合健診協会創立30周年記念講演を開催しました。

当日は、講師としてタレントの山田邦子氏をお招きし、テレビ番組への出演がきっかけで乳がんを発見したことや、その後を受けた検査や手術、退院後の経過など、ご自身の乳がん患者としての体験をお話いただきました。

一見深刻なものとなりがちなテーマですが、ユーモアたっぷりのお話に、会場の笑い声が途切れることなく、つらい闘病生活にあつても常に前向きな気持ちを忘れない山田氏の姿勢に、講演テーマのとおり「大丈夫だよ、がんばろう!」と、とても勇気を与えられた講演でした。



山崎直子氏講演



全国総会の様子

第30回全国よろこびの会 総会を開催

6月7日・8日の2日間、つくばグランドホテル（つくば市）にて第30回全国よろこびの会総会を開催いたしました。

全国よろこびの会とは、公益財団法人日本対がん協会の各支部が直接運営するがん克服者の会の全国組織であり、年に1度開催される全国総会は、加盟9団体が持ち回りで担当しております。

総会においては、当会の育成発展に長きにわたって貢献された会員様に対する功労者表彰や、元JAXA宇宙飛行士である山崎直子氏をお招きした特別講演を開催し、2日目の観光視察では、JAXA筑波宇宙センター見学や筑波山登山と、参加された皆様にくばり市を満喫していただきました。

Information

認定更新の お知らせ

このたび、「プライバシーマーク」および「労働衛生サービス機能評価認定施設」の認定を更新いたしました。

プライバシーマークとは、JIS Q 15001:2006「個人情報保護マネジメントシステム要求事項」に準拠した適切な個人情報保護体制を整備する事業者を認定する制度であり、付与を受けた事業者は、その旨を示す「Pマーク」をホームページや印刷物などに使用できます。

また、労働衛生サービス機能評価認定施設とは、労働安全衛生法など関係法令に基づき、適切な健診・検査機能を有する健診機関である。

また、労働衛生サービス機能評価認定施設とは、労働安全衛生法など関係法令に基づき、適切な健診・検査機能を有する健診機関である。

かどうかを評価・認定するものです。認定の評価基準は社会のニーズに応じて常に厳しい内容に改正されており、この認定を受けることがより適正な健診機関であることが証明されます。

今後当協会は、より一層皆様に信頼される健診機関を目指し、個人情報保護のための更なる安全対策の強化およびサービスの向上に努めてまいります。



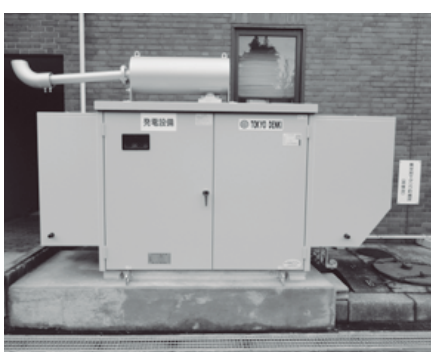
非常事態への 取り組み

〜東日本大震災から二年〜

未曾有の被害をもたらした平成23年3月11日の東日本大震災から一年。当協会において幸い受診者の方々および職員において被害はなかったものの、施設の一部損壊や、長時間にわたる停電を余儀なくされました。このことから、非常事態における停電時も電源が確保できるよう、非常用電源設備をこのたび導入いたしました。

また、当協会は災害マニュアルを制定し、緊急時における受診者の安全確保や避難方法・連絡体系の構築など職員一人一人がとるべき具体的な行動指針を定め、地域住民の皆様と連携して非常事態に取り組むこととしました。

皆様に安心して健診を受けていただけるよう、今後も来るべき災害に備えて、非常事態への体制整備を順次進めてまいります。



自家発電設備

読者プレゼント



① 大田仁史先生著書

「今日の私が最高だ！」
を50名様にプレゼント

当協会副会長でもある大田仁史先生の著書「今日の私が最高だ！」を50名様にプレゼントいたします。

この本は、多くの高齢者や障害者を診てきた著者が、理想の介護や「アンチエイジング」「ピンピンコロリ」全盛の現代において、心身の衰えを嘆かず、「今日は残された日々のなかで、最高の状態」であると考え、「年相応」の自分らしい老い方について語る内容となっております。

② 「乳がん検診

無料クーポン券」を
20名様にプレゼント

日本対がん協会の発行する、乳がん検診を無料で受けていただける無料クーポン券を、本誌をご愛読い

ただいている方のなかから20名様にプレゼントいたします。(応募多数の場合は抽選となります)



注 意

□年齢が40歳以上の女性の方でマンモグラフィ検診を初めて受診される方が対象です。

□①～⑦に該当する方は、無料クーポン券をお使いいただけません。

- ①過去に乳がんを患ったことのある方
- ②手術後で現在治療中の方
- ③ペースメーカー装着の方
- ④豊胸手術をされた方
- ⑤妊娠中の方もしくは妊娠の可能性が認められる方
- ⑥他の医療機関で受診され、精密検査が必要な方
- ⑦すでに市町村等で配布されたクーポン券を利用した方

□本券は当協会本部(水戸市)のみでの使用となります。当協会県西センター、県南センターや他の医療機関ではご利用いただけません。

お見舞い

5月6日につくば市において発生致しました
竜巻により被災された皆様には、
心よりお見舞い申し上げますとともに、
一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

プレゼントの応募方法

必要事項(住所/氏名(フリガナ)/年齢/職業/電話番号)、
プレゼント番号(①または②)をご記入のうえ、
ファックス(029-241-0332)もしくは
メール(kikaku@ibasouken.org)にてご応募ください。

応募締切 7月20日(金)必着。なお当選発表は
発送をもって代えさせていただきます。

※ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの送付のためのみに利用し、それ以外の目的に利用いたしません。

編集後記

新しい機関紙「けんこうリンク」。記念すべき創刊号はいかがでしたか？

これからも皆様の健康にリンク(つながる)する情報を掲載していきますので、ご愛読のほどよろしく願います。

この記事を書いているのが5月上旬、この号が発刊される頃には過ぎていると思いますが、21日朝の金環日食が楽しみです。

茨城県(特に鹿行地域)は絶好の観測地になるそうで、次に日本(本州)で金環を拝めるのは300年後となれば、まさに一生に一度の機会。見逃すわけにはいきません。

観測用レンズも準備万端。後はお天道様に晴天を祈るばかり。

さて、結果を知っている皆さん、実に綺麗な金環だったでしょう？ まさか…。(N・K)





けんこうリンク

公益財団法人 茨城県総合健診協会

〒310-8501 水戸市笠原町489-5

TEL 029-241-0011(代) FAX 029-241-0332

【全国組織】

(公財)結核予防会茨城県支部

(公財)日本対がん協会茨城県支部

(公財)予防医学事業中央会茨城県支部

【施設認定】

労働衛生サービス機能評価機構認定施設

国際品質保証規格ISO9001:2008認証取得

プライバシーマーク認証取得



□県西センター	〒308-0125	筑西市関本分中37-1	TEL 0296-20-3480	FAX 0296-20-3482
□県南センター	〒300-0025	土浦市手野町1-1	TEL 029-830-3355	FAX 029-828-0985
□茨城県立健康プラザ	〒310-0852	水戸市笠原町993-2	TEL 029-243-4171	FAX 029-243-9785

個人情報保護に関するお知らせ

当協会では、機関紙「けんこうリンク」の発行に関わるみなさまの個人情報を、同紙の送付以外には使用いたしません。次回以降、送付をご希望されない場合は、経営企画室までご連絡くださいますよう、お願いいたします。

「けんこうリンク」情報は

<http://www.ibasouken.org/>